

# 入院診療計画書② (産)緊急帝王切開

患者ID: 患者ID  
患者氏名: 氏名

主治医氏名: 氏名  
担当看護師氏名: 担当看護婦

新規作成日: 新規作成日

日付			1/1
	基準日		1日後
	術前	術後	
目標	不安の表出ができる	疼痛コントロールについて理解できる	合併症について理解できる
	精神的準備ができている		
	身体的準備ができている		産褥経過が順調である。子宮復古が正常に経過する。母乳栄養が確立できる。母子関係の確立できる。
投薬			痛み止めが始まります。 赤ちゃんにK2シロップの投与をします。
注射	点滴と抗生剤を行います。	手術の後に水分と抗生剤の点滴を行います。	点滴を行います。
	検体検査	臍帯動脈血ガス	朝、採血をします。
処置	胎児心音を確認します。	手術後、適宜検温を行います。足にマッサージの機械をつけます。	
		血栓症予防のため弾性ストッキングを履きます。	
			点滴終了後、針を抜きます。 尿管を抜きます。 4回検温があります。
看護情報	確認事項	手術の同意書、説明書の内容の同意を確認します。	
	観察項目		間歇的空気圧迫法 血栓の予防のための空気圧迫法を行います。
	指導	アクセサリーなどは、外して家族に預けましょう。	早期回復のために離床の必要性、乳房の手当て、授乳について説明をします。
	清潔	歯磨きを済ませておきましょう。	洗面、歯磨きは介助します。 体拭き、着替えを介助しながら行います。
	排泄		手術室に行く前に、尿管を挿入します。 離床ができたなら尿管を抜去します。 尿管を抜いた後は、トイレに歩きます。
	安静度		術後、3時間したら自力体動が可能です。 朝よりベッドを挙げて体を起こします。 初めて歩く時には、看護師が付き添います。
	リハビリ依頼		
食事		絶飲食です。	朝から水が飲めます。 昼から五分粥が始まります。 夕から全粥が始まります。
コメント			

# 入院診療計画書②

# (産)緊急帝王切開

患者ID: 患者ID  
 患者氏名: 氏名

主治医氏名: 氏名  
 担当看護師氏名: 担当看護婦

新規作成日: 新規作成日

日付	1/2 ~ 1/4	1/5	1/6	1/7
	2~4日後	5日後	6日後	7日後
目標	感染の徴候がない			日常生活の注意点について理解できる
	合併症の症状・所見がない		創部に問題がない	
産褥経過が順調である。 子宮復古が正常に経過する。 母乳栄養が確立できる。 母子関係の確立できる。				
投薬		 赤ちゃんにK2シロップを投与します。		 赤ちゃんのK2シロップの退院処方をお渡しします。
注射				
検体検査	 3日目の朝 採血があります。		 朝、採血と尿検査があります。	
処置		 退院まで1日2回検温があります。		
			 退院診察があります。場合により抜鉤を行います。	
看護情報	確認事項			
	観察項目	 子宮の収縮状態を観察します。排ガスがあったらお知らせください。		
	指導	早期回復のために離床の必要性、乳房の手当て、授乳について説明をします。		
		 産褥指導（月・木曜日）があります。	 赤ちゃんの状態に合わせて、沐浴指導を実施する予定です。	
	清潔	 朝、創部を確認し問題なければシャワー浴を開始します。		
排泄		 24時間の尿・便の回数を確認します。		
安静度		 制限はありません。		
リハビリ依頼				
食事	 朝から普通食が始まります。		 お祝い膳がでます。	 産科食です。
コメント				退院後の過ごし方で不安なことがあれば、スタッフへお声かけください。